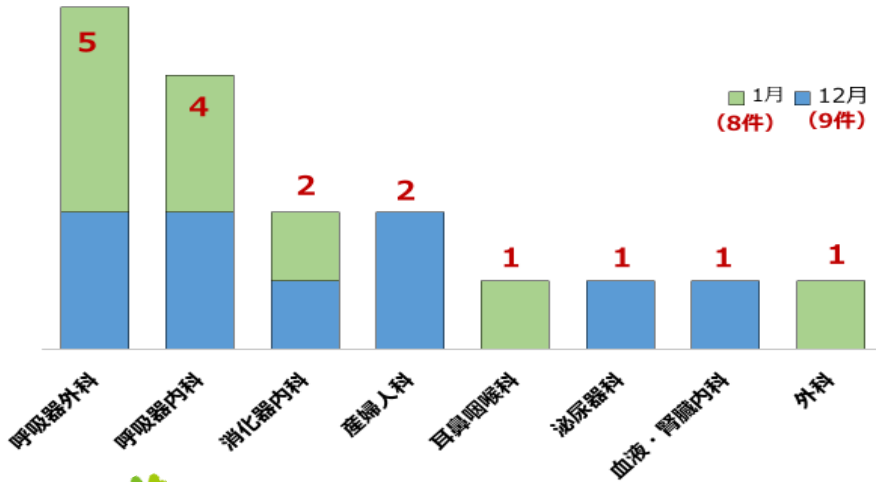




1. 緩和ケアチーム依頼

12・1月 新規依頼 17件



新規依頼は17名ですが、継続患者さん含め、延べ32名192回、チーム回診を実施しました

緩和ケアチーム

かかわりの一例

・70代男性

外来通院時から約4ヶ月介入。不安な気持ちを時間をかけ傾聴したり、つらい症状へ緩和治療を担当医療者とともにおこないました

・70代男性

治療の迷いあり。納得し選択できるよう、病状説明に同席しサポートしました

・60代女性

苦痛のスクリーニングで希望あり、不安なく治療が受けられるようかかわりました

2. 工藤研修医より 緩和ケアチームに参加して

緩和ケア回診・カンファレンスに参加することで、依頼のあった患者さんはそれぞれ、疾患そのものから来る身体の苦痛だけでなく、経済的な面やおかれている状況に対しても、同様につらさを抱えていること、また、それらには医師のみでは対応できず、いくつもの職種が参加していることの意義に気づきました。

12月の緩和ケア研修会の前後で、チームに関わる機会があったことは、この気づきの基礎になりました。

緩和ケアチームで取り組む問題は、経済面等意外なものも度々あり、思っていたよりも多くの患者さんに介入する機会がありうるのだと思います。

1か月間、耳鼻咽喉科研修と緩和ケアも頑張りました 🌸 🌸



3. お知らせ

① 院内緩和ケア勉強会

(今年はOJTで行っています)



12/10 7A病棟
『当院のオピオイドについて』

12/25 4B病棟 『がん患者さん入院時の流れについて』

② 1/13 秋田県緩和ケアチーム TVカンファレンス

- 『各病院のアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の状況』
- 数人へ始めたばかりが大半、実施していない病院もある
 - これからACPチームを立ち上げ、勉強会を行う病院が多い